

## 福島原発事故から 10 年

# 放射能汚染は収束しない！

福島第一原発での過酷事故から 10 年の月日が流れましたが、250 人を越える子どもたちに甲状腺がんが見つかり、67,000 人を越える人たちが未だに避難生活を強いられています。常磐線の全面開通や駅舎や役場の建設で、『復興』がアピールされてはいますが、厳しい現実が変わっていません。



### ★福島で震度 6 強の余震★

2月13日に福島と宮城で震度6強の地震が発生しました。大きな津波はなかったのですが、かなり激しい揺れで、地区によっては10年前より揺れたそうです。

しかし、地震直後に「原発異常なし」の報道がされました。既に破壊されている原発が本当に地震に耐えうるのかと思われた方も多かったと思います。

案の定、その後に原子炉格納容器の水位が低下し、燃料プールの水はこぼれ、20基ほどの汚染水タンクがずれていたことが明らかになりました。原発周辺の放射線量は広い範囲で上がっていたようです。

環境に放出された放射能を消し去ることは出来ない。住民は事故後も被曝の現実と恐怖にさらされる。

## この福島の実を伊方の実にしてはならない。

# 大阪地裁は大飯原発の設置許可を違法と判断

2020年12月4日、大阪地方裁判所は、福島原発事故後、国が定めた新しい規制基準に「基準地震動を算定するにあたって観測データのばらつきを考慮しなさい」と明記されているにもかかわらず、関西電力が観測データに基づく「平均値」から乖離するデータのばらつきを検討しておらず、原子力規制委員会もそれを考慮せずに許可したことを不合理だと指摘して、設置許可を「違憲」と判断し取消しを命じました。



## 伊方原発も同じ計算式で行い、 基準地震動 650 ガル

『基準地震動』とは、耐震設計等を決める原発の安全性の根幹になる値で、過小評価すれば過酷事故に繋がります。

一般住宅のメーカーでさえ、2000 ガルの実証実験を行い、安全性を確保しようとしている現状のなかで、どんな事態が起ころうが放射能を封じ込めなければならない原発で 650 ガルとは余りにもお粗末です。この数値こそが、私たちの生命より経済性を優先している国や企業の姿勢です。

**原発を止めよう！ 原発はいらない！**  
**一緒に声をあげましょう。生命が大事と。**

毎月11日10時から12時まで伊方原発ゲート前で座込抗議を行っています。ご参加をお待ちしています。

伊方から原発をなくす会    ☎796-0088    八幡浜市 304-8    まちづくりネットワーク八幡浜内